



# 第110号

令和7年(2025年)

2月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

## 第4回定例会

主な審議・補正予算・賛否一覧・

視察受け入れ・陳情 — 2～3p

一部事務組合・視察報告 — 4p

ここが聞きたい!一般質問 — 5～12p

常任委員会報告 — 13～15p



古賀市議会



写真：寒い中でも市民の安心につなげる交通安全年末街頭啓発

77号  
議案

## 古賀市特別職の職員の給与等に関する 条例等の一部改正

地域の消防防災体制の充実強化を図ることを目的として、消防団の組織再編を行い、機能別団員制度を導入するもの

付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

主な審議

第4回  
定例会  
(11月25日～12月11日)

78号  
議案

## 古賀市一般職の職員の給与に関する条例 および古賀市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

人事院勧告、他の地方公共団体の給与改定状況等諸般の事情を勘案し、市職員の給料月額および諸手当を改定するもの

付託▷ 総務委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

79号  
議案

## 古賀市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例 および古賀市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正

市職員の給与改定に伴い、市議会議員および常勤の特別職の職員の期末手当を改定するもの

付託▷ 総務委員会 賛成多数 可決

本会議  
賛成多数  
可決

80号  
議案

## 古賀市立学校施設開放の管理 運営に関する条例の一部改正

古賀市立学校施設の利用範囲を拡大するほか、古賀東中学校の教室の一部を利用に供する施設として追加するもの

付託▷ 文教厚生委員会 賛成全員 可決

本会議  
賛成全員  
可決

93号  
議案

## 古賀市監査委員の選任

識見を有する者のうちから選任した監査委員が、令和6年12月31日をもって任期満了となることに伴い、後任委員を選任

大西 宗氏 (おおにし たかし)

本会議  
賛成全員  
同意

# 令和6年度4回目となる補正予算 一般会計補正予算 (第4号) 補正額の総額は 6億6,811万2千円

補正予算  
(12月4日)

第4回  
定例会

### 小野小学校・花鶴小学校体育館外壁等 改修工事追加設計委託料

(補正予算額：693万円、担当課：教育総務課)

学校教育活動、避難所として活用される体育館を快適に利用できるようにするもの

### 消防団再編に係る消耗品費

(補正予算額：200万2千円、担当課：総務課)

古賀市消防団の再編とそれに伴う機能別団員制度の導入に向けて、必要な消耗品の購入

本会議  
賛成全員  
可決

号数	議案名	結果	今井公一	結城弘明	中野敦史	古賀誠視	森真希	秋吉智紀	村松謙二	福崎トビオ	平木尚子	松島岩太	伊藤康義	大賀文子	大隈慶太郎	奴間健司	秋山隆哉	井之上豊	紙谷由香	森本義征	渡孝二	
75	専決処分の報告(令和6年度古賀市一般会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	専決処分の報告(道路管理瑕疵に係る損害賠償)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	古賀市特別職の職員の給与等に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	古賀市一般職の職員の給与に関する条例及び古賀市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	古賀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び古賀市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正	可決	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	古賀市立学校施設開放の管理運営に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	古賀市下水道条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	古賀市水道の布設工事監督者の資格等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	令和6年度古賀市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	令和6年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	令和6年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	令和6年度古賀市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	令和6年度古賀市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	令和6年度古賀市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	工事請負契約の締結 (海津木苑旧処理棟及び仮事務所解体工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	市道路線の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	市道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	古賀市監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員名は左から議席番号順

こが市議会だよりの  
視察受け入れ

兵庫県三木市 11月8日

「事務局が制作している三木市議会だよりを、議員が作ることにしている」を研究されており、議員自らが作ることのメリット(議案審議内容の振り返りや、市民の視点・読者を意識したりリニューアルの流れなどを説明しながら意見交換を行いました。



陳情

6年陳情3  
再審査改正についての意見書採択  
についての陳情

陳情者 福岡県弁護士会

会長 徳永 響

■おわびと訂正

市議会だより第1109号について誤りがありましたので、訂正の上おわびいたします。

9ページ 52議案「一般会計補正予算

【誤】9億9999万9千円

【正】9億9999万円

15ページ 今井公一議員の一般質問について

【誤】都市計画課 ↓ 【正】都市整備課

## 一部事務組合議会報告

議長 渡孝一

### 玄界環境組合議会

令和6年11月12日、第2回定例会開催。

組合議員構成の変更に伴い副議長の選任が行われ、指名推薦より、岡本陽子氏を選任。

また、新ごみ処理施設建設候補地の選定に関し、必要な事項を調査審議する付属機関の設置条例を制定。

さらに、令和5年度決算を審議。歳入では、三市一町からの経常費・創設費分担金の他、ごみ処理場使用料など総額約33億7200万円を収入。歳出では、古賀清掃工場並びに宗像清掃工場の可燃物および不燃物処理費など約33億1300万円を支出し、歳入歳出差引額約5900万円をもって決算を認定。

その他、令和6年度補正予算（第1号）が上程され、歳入歳出それぞれ約3670万円を増額、歳出の主なものとして、職員人件費のほか新ごみ処理施設建設候補地選定委員報酬などが計上され、賛成全員をもって可決。

令和6年12月13日、第2回臨時会開催。

令和6年度補正予算（第2号）が上程され、歳入歳出それぞれ約4300万円を増額。歳出の主なものとして、人事院勧告に基づく職員人件費のほか、燃料費高騰による需用費約4200万円が増額計上され、賛成全員をもって可決。

### 古賀高等学校組合議会

令和6年12月13日、第3回臨時会開催。

令和6年度補正予算（第3号）が上程され、歳入歳出それぞれ約560万円を増額。歳出では人事院勧告に基づく職員人件費を計上、同財源として財政調整基金繰入金が計上され、賛成全員をもって可決。

### 粕屋北部消防組合議会

令和6年12月19日、第2回定例会開催。

令和6年度一般会計補正予算（第2号）歳入歳出それぞれ66万1000円の増額。消防本署の設備機

器を始め緊急を要する経費の専決処分が上程され、賛成全員をもって承認。

また、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定、および人事院勧告に基づく組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定が上程され、賛成全員をもって可決。

さらに、令和5年度一般会計決算を審議。歳入では、組合構成一市一町からの分担金の他、消防債など総額約12億9400万円を収入。

歳出では、消防指令システム共同運用事業費のほか職員人件費や庁舎管理費など総額約12億7100万円を支出し、歳入歳出差引額約2300万円をもって決算を認定。

併せて、令和5年度休日診療所事業特別会計決算を審議。歳入では、組合構成一市一町からの分担金の他、延べ患者数1162人からの診療所使用料など総額約4700万円を収入。歳出では、医師等報償費のほか、医薬材料費など総額約3450万円を支出し、歳入歳出差引額約1250万円をもって決算を認定。

## 議会報告会幹事会

視察

志免町議会 11月22日

議会報告会幹事会では、市民に向けて、より良い報告会にするべく、町民との意見交換会で好評を博している志免町の「志免町議と語る会」に視察に行きました。

議長からの町政報告の後、テーブルに分かれ、テーマに沿って、議員と町民の意見交換会が行われました。どのテーブルでも、町民から意見がたくさん出され、参加者も笑顔のうちに終わりました。

古賀市議会でも、参考にさせていただき、次の議会報告会の内容を検討したいと思えます。



「志免町議と語る会」の様子  
(志免町議会事務局提供)

ここが聞きたい！

—

般

質

問

質問席

古賀市が描く DX の将来は	井之上 豊
①氾濫するメディアへの対応を ②安心して働き、安心して暮らせるまちに	森 真希
市長がめざすシティプロモーションとは	古賀 誠視
①すべての児童生徒へ手厚い支援を ②西鉄宮地岳線跡地の説明を求める	秋吉 智紀
必要な人に届く配食サービスのために	大賀 文子
「まちの通信簿」の導入を～共創のまちづくりをめざして～	奴間 健司
市内小・中学校の休業日短縮について	大隈慶太郎
鳥獣被害と特定外来種生物の防除について	秋山 隆哉
地方経済を活性化し、にぎわいを創出する その2	伊藤 康義
①役所の窓口受付時間の短縮で、行政サービスの質と職員の労働環境はどう向上するか ②帯状疱疹ワクチンの公費助成で病を未然に予防しよう	村松 謙二
古賀市の農地政策について	中野 敦史
①市民の命・暮らし・平和を守ることは行政と議会が果たすべき責務 ②行政の透明性と市民への説明責任～市民の財産と西鉄宮地岳線跡地利用について～	今井 公一
古賀市における PFI 等の導入について	森本 義征
①地域力を強くするには ②これからの循環型社会について	平木 尚子

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。  
 一人 30 分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。  
 掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。  
 掲載は通告届出順です。

中継・録画は、  
インターネットで  
視聴できます





井之上 豊  
(公明党)

## 古賀市が描くDXの将来は

### 答 市に適した運用等について検討する

議員 窓口業務の効率化について。

市長 住民票等は全体の半数がコンビ

ニ交付を利用。保育所等の入所申し込みも9割がオンライン申請になった。公開型地理情報システムは自宅や職場から確認や印刷が可能になった。このような取り組みで窓口業務の効率化・省力化につながっている。

議員 3D都市モデルの活用について。

市長 JR古賀駅周辺におけるまちづくりの検討をしているところ。

3D都市モデルを用いることで、立体的な空間形成の検討が進めやすく、構築データを市民に分かりやすく伝えることが可能になる。また、古賀市全体を見据えた防災面や再生可能エネルギーの検討などにも活かしていきたいと考える。

議員 スマート農業の活用について。

市長 令和5年から3年を試行期間とし、小野地区においてスマート

アグリビレッジおの推進協議会

が実施主体となり、スマート農業技術を活用したりリモコン式草刈機、水田の水位や水温が遠隔地で把握できるセンサー、またスマートグラスを用いた高齢者への買い物支援の実証に取り組んでいる。

議員 高齢者も利用しやすいDXをどのように実施するのか。

市長 スマホおたすけ窓口、公式LINEの文字サイズを大きくするボタンなどの位置がわかりやすいように改善している。

### DXのツール スマホとパソコン



## 一般質問



森 真希  
(山海会)

## ネットリテラシー教育にどう取り組むか

### 答 入学説明会での啓発など学校と協議する

議員 メディアについて子どもたちへ

どのように啓発しているか。

いるか。

建設産業部長 令和5年は55・5%だった。離職がないよう、マッチングに努めている。

教育長 年1回ネットの使い方、ルールづくりを小・中学校で行うほか、情報モラル教育を小学校

5・6年生、中学校3年生とその保護者に行っている。

議員 入学説明会で保護者に啓発の機会を設けてはどうか。

教育長 学校と協議をしたい。

議員 SNSによる性的トラブルが問題になってきている。どのような教育や指導を行っているか。

教育部長 保健体育や家庭科の授業、福岡県の外部講師制度を利用し

ネットリテラシー教育とあわせて行っている。

議員 古賀市と連携している大学の力

なども活かしていただきたい。

※安心して働き暮らせる労働環境整備

について

議員 無料職業紹介事業の就職決定状況は。対応はどのようにされて

いるか。

建設産業部長 令和5年は55・5%だった。離職がないよう、マッチングに努めている。

議員 学校では働き方が問題になっている、業務を補助する要員の配置なども検討してはどうか。

教育長 工夫したい。

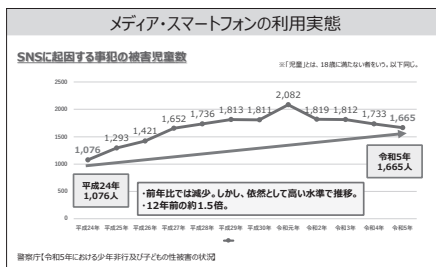
議員 少子高齢化・人口減少が進んでいるが、労働費に雇用拡大の視点

を持った事業を設けてはどうか。

市長 公民の連携で全体のイメージ

アップにつながれば雇用の確保、定住にもつながる。検討したい。

### SNSによる被害の児童数





古賀 誠視  
(市民クラブ)

## 花鶴川河口南側の砂浜の侵食が進んでいるが

### 答 県や県議とも共有を図り協議していく

**議員** JR古賀駅周辺開発による中心

市街地活性化、企業誘致、居住機能の強化などの取り組みが古賀市の価値を高めるとあるが、取り組み上での重要課題は何か。

**市長** 中心市街地であるJR古賀駅周

辺をどのように開発していくのか、市内6カ所で進めている工業物流団地にどういう企業を誘致していくのか、今後進めていく住宅開発がどういうまちなっていくのか、その方向性やプロセスも積極的に発信していくことが大切。

**議員** 花鶴川河口から新宮町側にか

けて、海岸線が侵食され狭いところでは松林まで10mもない位に侵食が進んでおり、このまま放置できないと思うが、どう考えるか。

**市長** 松林までの距離も迫っている状

況で、松林保全の観点からも対応が重要。県や県議とも共有を

河口南側の砂浜が侵食で危機的状況に



図り協議していく。

**議員** 子育て支援についての考えは。

**市長** チルドレン・ファーストの理念に

基づき、安心して子どもを産み育てられるまちづくりを推進し、産前産後の支援の拡充、多胎児家庭へ支援強化、子ども誰でも通園制度の試行的実施を検討。

**議員** 高齢者への支援策の考えは。

**市長** 増加が見込まれる認知症高齢者

への支援として、家族や介護事業者に介護技法のユマニチュードを学ぶ事業の導入を検討。



秋吉 智紀  
(切磋琢磨)

## 全ての児童へ手厚い支援を

### 答 問題を少しでも解決していく

**議員** 半年前と同じ質問をするが、不

登校児童生徒数とその割合が、古賀市は全国平均より高くなっている。原因は何か。

**教育部長** 不登校の原因はさまざま

が、あすなる教室、3つの児童館など、学校以外の居場所を充実させているので、それらを選択されている児童も多い。

**議員** 不登校の原因を探ることは困難

だが、何らかの事情で学校に行きたくても行けない児童もいることを肝に銘じ、原因追求を。また、いじめ、不登校、暴力行為など、生徒指導上の課題に対応するスクールソーシャルワーカーが、前年に比べ1.6倍対応時間が増加しているがなぜか。

**教育部長** 相談件数が増加しているこ

ともあるが、男性の相談員だけでなく、女性の相談員も増やしたことによりこれまで相談しにくかったことも相談しているの

ではないかと考えている。

**議員** 子どもたちの心情変化をいち早く捉える補助ツールとして、定期的アンケートをとっている

のは素晴らしい。今後得られたデータを長年にわたって活用するような仕組みを構築していく考えはないか。

**教育部長** 今の段階では考えていない。

**議員** 属人性を廃し、可視化していくことを引き続き望む。

※その他の質問

西鉄宮地岳線跡地の説明を求める

『ココロとカラダの天気』





大賀 文子  
(山海会)

## 必要な人に届く配食サービスのために

**答** 今年度末をもって廃止を検討している

**議員** 食は、身体をつくり命をつなぐもの、人々の生活を支える重要な役割がある。古賀市配食サービス事業の目的は。

**市長** 高齢者と障がい者に対し、食生活の改善と見守り、安否確認を行い、福祉の向上を図る。

**議員** この事業の評価と課題は。

**市長** 安否確認ツールとして一定の機能を果たしてきた。一方、所得制限により利用者が限られ、食事提供時以外の見守りの常時対応ができなかった。同様の事業が民間で増加、行政の介入が必要になり廃止を検討中である。

**議員** 配食サービスは、高齢者と障がい者以外にも必要ではないか。

**市長** 本事業は、見守り安否確認事業である。見守り事業は、コミュニティソーシャルワーカーや産前産後ヘルパー派遣などほかにさまざまなある。

**議員** 現在、事業委託先は、古賀市内

ではなく宗像市の事業所。古賀市のお金は市内に流れてほしい。飲食店等と事業協定し、福祉お食事券を発行してはどうか。

**市長** 見守りの既存制度は、相当程度あると認識する。協定はさまざまな主体が自主的に動く形を考えたい。個別の食事支援は、論

**議員** 点整理が必要で別の議論となる。病气、産前産後、介護、看護、育児、ハードルを下げて市民が

利用しやすい、新しい福祉の食事支援として生まれ変わること

利用しやすい新しい福祉の食事支援を



奴間 健司  
(友和)

## 市民アンケートの毎年度実施で施政点検を

**答** 意義は認める、職員状況を勘案し検討

**議員** まちづくりの到達点、課題、次の目標をわかりやすく示す「まちの通信簿」があれば共創のまちづくりが進むのではないかと

**市長** 面白いと思う。

**議員** まちづくりに対する市民アンケートを毎年度実施することを改めて提言するがどうか。

**市長** その意義は認める。職員の業務

状況等を勘案して検討すべきことかと思う。

**議員** 市民評価を基にしたチェック・C、次年度方針を示すアクション・A、予算編成と体制づくりのアクション・P、そして事務事業の実行・D。PDCAではなくCAPDサイクルが行政運営に必要な。市民アンケートと通信簿が起点となる。

**市長** 一般的にはPDCAサイクルと言われているが、チェックの重要性は認識しているのでCAPDサイクルの意義はわかる。

**議員** 12月定例会の時期は予算編成の真つ最中。市長は年末年始には施政方針作成に取り掛かると思うが、頭の中では少し立ち止まって年間サイクルの在り方をあれこれ描いていただきたい。

**市長** 目の前のことを重視せざるを得ない日々だが、折々に全体状況を把握したり次の一手を考えることは重要と思う。その中でCAPD、一般でいうPDCAを

私自身が意識することは重要と思う。そうした姿勢で引き続きやっていきたい。

行政運営にCAPDサイクルを







大隈 慶太郎

## 市内小・中学校の長期休業日短縮について

### 答 教職員の働き方改革と児童生徒のゆとり

**議員** 令和4年の教育委員会定例会において、「夏休みをさらに短く8月1日からにしたい」と述べているが、今もその考えか。

**教育長** 今のところそういう発想はない。

**議員** 夏休みをなぜ年数をかけて徐々に短縮してきたのか。

**教育長** 子どもたちや教職員へ急激な変化をもたらしたくはなかった。

**議員** 7月19日の新聞の記事では、夏休み短縮によって「経済的に厳しい家庭への給食の提供」と「余計な光熱費がかからない」と市民の声を紹介しているが、そのことについて「最初は考えもしなかった」で間違いはないか。

**教育長** 感謝はされているが、当初の目的ではなかった。

**議員** 夏休み前後、古賀西小学校と舞の里小学校は6日間給食が提供されていなかった。報道機関の取材に際しては、夏休み短縮の課題も含め正確に回答すべきで

は。今後も取材を受けるのか。また、夏休みの短縮について「丁寧に説明する」と述べられているが、どのように説明しても理解されないのでは。

**教育長** 基本的には受けるつもりはないが、報道の自由もある。子どもたちには、丁寧に説明するのと理解を得ている。

### 猛暑による夏休み延長

中国新聞デジタル 2024/8/28

「福山市教委、小中学生の夏休み期間見直しへ 教育改革より子どもの健康重視」

北海道新聞 2024/3/11

「稚内の小中、夏休み5日間延長

24年度冬休みは5日減」

「稚内市教育委員会は、『新年度は夏季休業を本年度より5日増やして30日間、冬季休みを同5日短縮する』と発表。」



秋山 隆哉  
(自由クラブ)

## 鳥獣被害対策全般の今後の取り組みは

### 答 効果を検証し対策の強化に取り組む

**議員** 動物緩衝林整備事業の進捗状況は。現在、薦野区において森林区域の雑草木等を伐採し、野生動物との棲み分けを図る緩衝地帯の整備に取り組んでいる。

**市長** 来年度の実施に向けては、整備した薦野区の事業箇所における草刈り等の維持管理に加え、農作物被害が多い青柳地区への拡大を予定。

**議員** 特定外来生物駆除における今後の課題は。

**市長** 駆除は今後も継続していくが、セアカゴケグモ等すでに広い範囲で確認されている特定外来生物においては、その対策が難しいのが現状である。

**議員** 鳥獣被害対策全般における今後の取り組みは。

**市長** 農業者への電気柵等の導入経費補助や、使用済みノリ網の購入斡旋による侵入防止対策を着実に実行していくとともに、動物

**議員** 緩衝林整備事業については、事業効果を検証し、対策の強化に向け取り組んでいく。

**議員** 何をどうしたいのか、防除に対するビジョンをお互いに持ち、同じベクトルに進む同志として特定外来生物の現状を共有することが重要である。周囲の市町村との連携も含め、行政として重点的に特定外来生物駆除・防除を切に願い、より一層の鳥獣被害対策措置を求める。

### 金網を設置した果樹園





伊藤 康義  
(自由クラブ)

## 地方経済を活性化し賑わいを創出するその2

### 答 残地利用が決まるまでの間の活用法

**議員** 宮地岳線跡地の広くなった道路と歩道、市民へお披露目を兼ねイベント等の開催を提案する。

**市長** 残地の整備方針が決まるまでの間、市有財産の有効活用として地元の皆さんとの連携でイベントの開催ができるのは、ありがたい提案で検討を行う。現地の対応は安全対策を行い検討をする。

**議員** イベントを行うことで、より多くの市民に、便利で安全な素晴らしい道路と認識いただけると思うのだが、市長の考えは。

**市長** そこで暮らしている人以外にも、来ていただきたいと私自身も強く思う。1回のイベントで一直線の道路で何かまつり古賀ではないが、人が集うことができると思ふ。

**議員** 長年整備されなかった現状を含め、市の早期判断を求む。最終的には私が、一番だと思ふ整備の結論をだして進めていく。

西鉄宮地岳線跡地の残地



**議員** イベントを1回やりましょう。JR古賀駅周辺開発における商業施設は。

**市長** 東口は公園整備と一体的に利用できる店舗建設、西口は駅前広場の整備と商工会前等の憩いの広場に公共空間の配置を行う。東口は公園環境に見合う商業施設を市の主導のもと実施を、西口は繁華街らしい雰囲気づくりと賑わいと店舗数の充実を図るよう要望。市民の期待は見た目の変化と商業施設の充実にある。市監修の下で、民間と連携して推し進めることを求む。



村松 謙二  
(切磋琢磨)

## DXの推進で、行かない窓口の取り組みは

### 答 窓口の統一も含め、研究をしたい

**議員** 窓口の受付時間を短縮するきっかけは何だったのか。

**市長** 市民国保課から私への提案だ。勤務時間と窓口が開いている時間が一致しているが、準備や後片付けも残業が当たり前で処理していた。今回の窓口時間短縮によって、働き方改革と政策立案能力の強化で、市民への窓口サービスの質の向上が図られる。

**議員** 市民部の窓口業務が、きつい理由や実態などは把握しているか。

**総務部長** 戸籍、住基、国保、年金などの事務を抱え、多くの個人情報も扱う。事務量は多く、ミスを起こさないよう細心の注意も必要でプレッシャーを感じている。現場から課題を上げ、改善や解決方法を提案した部署も立派だが、その声を受け止めた市長も良い判断だと思ふ。窓口案内の改善や、耳や目の不自由な高齢者に対応するために「字幕表示

**議員** システムの機器を活用しては。市民サービスの提供に必要で有益な機器は導入の検討をして、何らかの結論を得ていきたい。市役所本庁舎とサンコスモ古賀が物理的に離れており、子育て世帯、高齢者、障がい者から利便性がよくないとの声がある。書類の簡素化や電子化を進めワンストップで手続きできる構想はあるか。

※その他の質問

带状疱疹ワクチンの公費助成を

役所窓口のさらなる改善を

- |  |
|--|
| 1. わかりやすい案内                            |
| 2. オンライン手続の利用拡大                        |
| 3. 待ち時間の短縮                             |
| 4. 窓口サービスの効率化 <small>ワンストップで完結</small> |
| 5. バリアフリー対応                            |

**総務部長** ワンストップの窓口やDXを推進していく中で、全体的な問題点を研究していきたい。



中野 敦史  
(自由クラブ)

## 古賀市の農地政策は

**答** 農地保全に向け計画的な整備に取り組む

**議員** 地域計画は今年度中に策定しなければならぬはずだが間に合うのか。策定完了までどれぐらの期間を要するのか。

**建設産業部長** 今年度末がゴールではなく、次年度以降も変更等あれば適宜見直していく。実質化していくことが肝要。策定完了までは2〜3年かかる。

**議員** 来年4月から農地の貸し借りおよび売買は、農地バンク経由となり、手続きに時間を要するようになるが、周知するべきでは。

**建設産業部長** しつかり周知していきたい。

**議員** 農振地域の整備計画書において「適切な土地利用の転換も考えられる」とあるが、今後、筵内地区の農振農用地が開発される見込みはあるのか。

**市長** 筵内地区においては、より効率的効果的持続可能な農業ができるよう、優良農地として保全すべき地域と考えている。

**議員** どのような方法手段で優良農地を保全していく考えか。

**建設産業部長** 基盤整備を進めることで、営農しやすい農地を確保し、現在の農業用水の在り方を整備することが必要と考えている。

**議員** 基盤整備を進めるとしても、事業開始までには時間がかかる。農業用水の安定確保に向け、例えば農業用水の自動制御などのデジタル導入を検討しては。

**市長** デジタルの導入によって水不足の軽減が図れるのならば積極的に検討すべき。

優良農地として残す DX 農業の検討



今井 公一

## 市民の平和と暮らしを守るのが行政の責務

**答** 核兵器廃絶に向けて取り組みを進める

**議員** 保険証が新規発行されなくなった。自力での申請取得の困難が予想される人等への対応は。

**市民部長** 配慮が必要な人の実態の把握は行っていない。

**議員** 戦後80年という歴史的節目の年を迎えるにあたり核兵器禁止条約に早く政府が署名するよう、草の根からの運動を広げていくチャンス。小・中・高・大学生の原水爆禁止世界大会、広島・長崎派遣と報告会の開催を提案する。

**市長** 今回の提案については貴重な意見として参考にし、核兵器廃絶と世界平和に向けた取り組みを進めていく。

**議員** 子育て支援、移住・定住促進に奨学金返還中の勤労者、市外から古賀市に就労した勤労者の奨学金返還一部補助金制度創設を。

**市長** この政策は長期定住や市外への転出抑制、地元企業への就職促

進につながると思われ、その成果や実績について研究する。

**議員** 市長は、将来にわたって市民から愛され続ける西鉄宮地岳線跡地にしたいと言ってきた。活用について私もいくつか提案している。パブリックコメント、子どもたちからの意見、今からでも遅くないので聞くべきでは。

**市長** 市の考え方は示しながら最終的な着地点というのを見いだして地元の皆さん、我々にとっても、いい空間になったところをしっかりと見極めて進めていきたい。

西鉄宮地岳線花見駅舎の復元保存を



一般質問



森本 義征  
(友和)

## 公共施設整備等におけるPFI導入について

### 答 PFI導入可能性の検討を進める

**議員** PFI導入のメリット・デメリットは。

**総務部長** メリットは、安価で良質な公共サービスの提供できる可能性。

民間の事業機会を創出することで経済の活性化に資する。デメリットは、仕様発注ではなく、性能発注ということが発注後の意向反映が難しくなることなど。

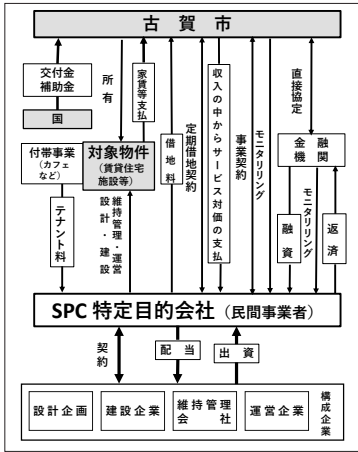
**議員** PFI導入検討窓口を置くべきと考えるが。

**総務部長** 現在、各施設においては施設所管課で管理運営等を行っており、官民連携に関連する検討は、管財課で調査研究を行っている。今後は調査研究を引き続き行っていくが、例えば外部の人材を活用するなど、必要な取り組み、組織体制を検討する。

**議員** 導入についての市長の見解を。

**市長** PFI事業の活用が推進されることよって、公共施設等の整備に民間の資金やノウハウが最

PFI (民間資金等活用事業) のスキーム例



大限活用され、真に必要な公共施設整備等が効率的に行われることが期待されると考えている。公民連携を推進している古賀市として、提起されたPFI手法というのは、これからの自治体運営経営の中でしっかりと可能性を検討していくべきものと考えている。

**議員** 今後、公共施設等の整備計画において、事業計画当初にPFIを検討することが不可欠になると思う。早急にPFI対策の取り組み体制を整えることを提案する。



平木 尚子  
(公明党)

## 地域力を強くするには

### 答 市と自治会が両輪となり積極的に支援

**議員** 自治会加入率を上げるためにはどうすればよいと考えるか。

**市長** 一人でも多くの人に自治会の活動に理解・関心をもってもらい、「市民にとって最も重要で、最も身近に感じられる地域コミュニティ」であることが自治会への加入率の向上につながっていくものと考えている。

**議員** 自治会加入率が増えない場合の課題は。

**市長** 最も懸念することは、地震や台風といった自然災害が発生した時、地域内の結びつきが弱まり、近隣住民同士の助け合いが途切れ、市民が孤立してしまう状況を生むなど地域の安全対策や防災体制が機能しなくなること。

**議員** 自治会活動や、地域の助け合いをどのように進めていくか。

**市長** 自治会の主体的な取り組みを今後も積極的に支援するなど市と自治会が両輪となって進んでい

転入者へ配布の加入促進チラシの一部



くことで、自治会活動が活性化し、より一層地域の助け合いが図られていくものと考えている。

**議員** これからの循環型社会について

**市長** リチウム蓄電池等の小型充電式電池の回収についての現状と課題は。

**議員** 市役所環境課で回収している。課題は、小型充電式電池を取り外していない状態で、そのまま金属混合物としてごみ収集車に積み込まれたり、清掃工場に持ち込まれると、処理の過程で発火、火災につながる恐れがある。

# 総務

## 委員会

10月10日

委員長 秋吉 智紀  
平木 尚子  
副委員長 松島 岩太  
紙谷 由香 大賀 文字  
森本 義征

### DX推進の現状

**問** 未来共創フェロー委嘱とDX推進アドバイザーの違いは。

**答** 未来共創フェロー委嘱は、職員の意識改革やDXビジョン策定等のアドバイザーを目的とし、DX推進アドバイザーは職員と一緒に現場に入り、具体的な業務改善の支援を行うことを目的としている。

**問** DX推進アドバイザーの仕事内容は。

**答** DX研修以降、業務改善相談を受け、解決につなげる具体的な事例を紹介し、職員の意識改善を促す活動を進めている。それぞれの課に出向き、エクセルを使って具体的な解決に取り組み、トータルで200時間以上の業務時間削減につながっている。

デジタル推進課

### 「のーと古賀」のこれから

**問** A1オンデマンドバス「のーと古賀」のミーティングポイントについて。

**答** 現在のエリア外に4カ所増設を予定していたが、タクシー事業者との調整が難航し、今年度中の実施は難しい。そこで、LINE予約機能の拡充を検討している。

**問** A1オンデマンドバスの待機場所について。

**答** 市役所近隣のエリア外ポイントが増えたので運行効率化のため、市役所での待機を試験的に設けたが、市民からの意見を考慮し今後決定していく。



経営戦略課

### 指定管理運営状況について

**問** 評価シートで自己評価より最終評価が下がっている結果について。

**答** 改善や指導が必要なレベルではないため、所管課を通じて指定管理者に伝え、理解を得ている。

**問** クロスバルこがの地元雇用について。

**答** 女性雇用や市内在住者の雇用を促進するための取り組みを行っているが、伸び悩んでいる。しかし、地元雇用にて特化した採用条件を設置し、雇用確保に向けて工夫して採用確保を実施している。



人事秘書課

### 市民参画推進事業と国際交流多文化共生事業

**問** まちづくり基本条例検証のための、市民アンケートについて。

**答** 回答が対象者1000人のうち30%に満たなかったことを重く受け止めている。原因は、十分に精査した質問内容が負担になったこともあると考えられる。まちづくり基本条例を検討する4年に1度の取り組みの年で、さまざまな課題が見えた。

**問** 市が運営している日本語教室と地域との関連について。

**答** 一般市民が市民活動の一環として参加している交流型の日本語教室である。学習者のニーズに合わせてグループでの会話や、さまざまな学習スタイルに対応し、できる範囲で学びをすすめており、地域の情報共有も図りながら、都度対応していく。

まちづくり推進課

10月22日  
31日

委員長 古賀 誠視  
副委員長 今井 公一

森 真希  
大隈 慶太郎  
奴間 健司  
秋山 隆哉

### 部活動の地域移行

**問** 部活動の地域移行を含む教育行政は、国の基本方針に従って行っているのか。

**答** 国は教員の働き方改革の一環として、部活動を地域に移行することを推奨している。古賀市においては、国の方針に従いつつも、地域に合った部活動の移行を進めていく予定で、教員の働き方改革を進めながら、子どもたちの部活動という居場所を確保し、スポーツに親しむ機会を継続的に提供していくことが目的。



学校教育課

### 戦没者追悼式 物価高騰支援給付金

**問** 戦没者追悼式は、内容や参加対象を検討するべきではないか。

**答** 令和7年度は、児童生徒も参加しやすいよう、土曜日の開催を検討している。児童生徒の作文等についても検討していく。

物価高騰緊急支援給付金について詳細な報告がありました。

**問** 令和6年度住民税非課税世帯に対する物価高騰支援給付金の対象世帯が、令和5年度と大きく異なる理由は。

**答** 令和5年度に申請や支給を受けた世帯を除き、令和6年度に新たに非課税となった世帯。広報やリマインドを行い、申請漏れを防ぐ。

福祉課

### 古賀市子ども計画の策定

**問** 古賀市子ども計画の策定について、どのような検討や課題協議をしているのか。

**答** 国のこども大綱に基づいた自治体として取り組むべき課題が主な協議事項である。また、アンケート調査やニーズ調査を通じて、子どもや保護者の声をどのように反映させていくか、子どもが主役の社会の実現に向けて、どのような施策を展開していくか等の議論を進めている。



子ども家庭センター

### 体育館の空調工事・ICTを活用した情報教育

**問** 体育館の空調工事に関する市の負担割合と全校の工事が完了する時期は。

**答** 市では緊急防災・減災事業債等を活用することで、国の交付税措置により、市の負担を大幅に軽減できる。令和7年度に古賀東中学校、小野小学校、花鶴小学校の3校を整備する予定、その後、毎年度複数校を整備し、できるだけ短い期間で全校の工事を完了させたい。

**問** ICTを活用した情報教育を進める一方、SNSトラブルが懸念されるが、情報リテラシー教育については、国の指針に基づき今後も取り組んでいく。



教育総務課

# 市民建産

## 委員会

10月29日  
30日

委員長 結城 弘明  
中野 敦史  
副委員長 村松 謙二  
井之上 豊 福崎 トビオ  
伊藤 康義

### 環境についての取り組み

宗像・糟屋郡地域事業者向け  
脱炭素セミナーについての説明  
がありました。

**問** 周知の方法等は。

**答** 古賀市商工会の協力も得  
ており、チラシ配付によ  
る周知を行っている。

**問** 3市5町の共同開催に至  
る経緯は。

**答** 昨年度、古賀市で開催し  
た脱炭素経営に関するセ  
ミナーが好評で、他自治  
体から相談があり、共同  
での開催に至った。

海津木苑から、循環ポンプ  
破損調査の報告がありました。

**問** 今回の破損は2台のうち  
1台で起こったが、2台  
必要な理由は。

**答** 故障時に対応できるよう  
必ず予備機が設置されて  
いる。

環 境 課

### マイナ保険証に関して

後期高齢者に係る資格確認  
書の報告がありました。

**問** 普及率と不具合は。

**答** 登録率としては約62%、  
不具合としては医療機関  
の機械が故障し、従前の  
保険証で対応したとの報  
告を受けている。

市 民 国 保 課

### 定額減税の給付

**問** 「定額減税しきれないと見  
込まれる納税義務者」とは  
どういう意味か。

**答** 令和6年分の所得税が確  
定していないため、令和  
5年分の所得税をもとに  
推計し給付していること  
から、そのような表現に  
なっている。

市 税 課

### 楽しめる公園へ

公園管理についての質疑があ  
りました。

**問** 公園内でのボール遊びに関  
するルールは。

**答** ボール遊びの可否は、地元  
で協議され、決められてい  
ると承知している。

**問** 千鳥ヶ池公園は屋外型のス  
ポーツができる施設であり、  
ここに市民体育館のような  
施設ができれば、さらなる  
スポーツ増進のエリアにも  
なり、千鳥駅、国道3号線  
と車・電車等でのアクセス  
もよく、市外からの来園者  
も増えるのではと考えるが。

**答** 施設建設の可否は、調査・  
確認が必要であり、公園再  
整備基本計画の中で、ある  
程度の方針を示していけ  
ればと考えている。この計  
画の期間は今年度3月末  
までとなっているため、来  
年度早々にもパブリック  
コメントなどを出せれば、  
というスケジュール感を持  
っている。

都 市 整 備 課

### JR古賀駅西口エリア の方向性

西口周辺整備についての説明  
がありました。

**問** 通過交通の抑制が重要であ  
り、周辺道路整備が必要と  
なると考えられるが。

**答** 場合により古賀駅前交差点  
の改良も必要と考え、今後  
も検証していく。

**問** 商業施設などを整備する構  
想はあるか。

**答** 商店や街並み特徴的であ  
り、その魅力を壊すことな  
く、駅前広場に人が集える  
空間を設けたり、憩える広  
場・公園などを、民間とも  
連携し整備できればと考  
えている。



古賀駅周辺開発推進課

# みんなへ届け!!

## 青少年の主張

12月14日リーパスプラザこがにおいて、令和6年度古賀市青少年育成会議「青少年の主張」作文表彰式および作文発表会が行われました。

表彰式および発表会は青少年育成の一環として、小学6年生から中学2年生までの子どもたちを対象に、子どもたちが「自分の主張を正しく相手に伝える力」「考える力」「広い視野、柔軟な発想や獨創性」を育むことを目的として行われています。本年度も計1196編の応募の中から市民会議により、優秀作品10編、入選作品30編が選出されました。



いずれの作品も小・中学生ならではの視点、感性に富み、大人も考えさせられる作品ばかりでした。リサイクルやゴミの処理、動物愛護といった環境問題に興味がある子ども。いじめや偏見、不登校、戦争といった人権問題に関心がある子ども。台頭してくるAIとどうやって付き合っていくか、投票率を上げるためにはどうしたらいいの

かといった身近な問題について、提言している子どもなどさまざまありました。変化の速い時代だからこそ「夢」といったキーワードも多く出てきており、古賀市議会としても子どもたちの夢を応援するような政策をもっともって考えていかなければならないと感じました。



子どもたちを頼もしく思う反面、身の引き締まる思いでした。来年の「青少年の主張」も楽しみにしています。

連絡先 青少年育成課  
092-942-1172

第4回定例会の傍聴者は42人でした。ありがとうございます。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。ご利用ください。



### 令和7年 古賀市議会 第1回定例会会期日程(案)

会期 2月20日～3月21日 30日間

日	曜	会議名
2/20	木	本会議(初日)
26	水	本会議(2日目)
27	木	常任委員会
28	金	常任委員会
3/3	月	常任委員会
4	火	補正予算審査特別委員会
5	水	予算審査特別委員会①
6	木	予算審査特別委員会②
10	月	予算審査特別委員会③
11	火	予算審査特別委員会④
12	水	一般質問
13	木	一般質問
17	月	一般質問
18	火	予算審査特別委員会⑤
21	金	本会議(最終日)

開議時刻は全て9時30分～

①本会議日程は、2月17日(月)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。  
 ②本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。  
 ③議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。  
 (本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です。)  
 ④請願書の締切りは2月13日(木)午後5時です。

古賀市議会の中継・録画は

### 古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

音声読み上げ版

※QRコードは株式会社ソニーエージェンシーの登録商標です。

### バックナンバーの音声読み上げ版もあります。



### 編集後記

これが市議会だより制作について、県外視察を受け入れました。古賀市議会では創刊号から取り組んでいる「議員が主となって作る市議会だより」は珍しいとのことでしたので、議員自らが作業することでの効果、SNSとの連動や、審議の意見等の掲載などが市議会だよりの編集活動を説明させていただきました。

「チームワークが素晴らしい」との感想が、嬉しくもあり、照れくさくもあり…そんな市議会だよりの視察受け入れとなりました。(福岡)

- 議会報編集常任委員会
- 委員長 福岡トビオ
  - 副委員長 秋吉智紀
  - 委員 平木尚子
  - 紙谷由香
  - 森真希
  - 秋山隆哉

**表紙の言葉**  
12月15日(日)、途中、みぞれ混じりの雨が降り出す中、交通安全協会の皆さまを中心に、古賀交番の前から交通安全年末街頭啓発を行いました。

